

令和3年第11回仁木町教育委員会定例会会議録

令和3年11月16日、仁木町役場「応接室」において、第11回仁木町教育委員会定例会を開催。

●出席委員 岩井教育長、加藤教育長職務代理者、関井委員、関委員、渡委員

●会議に参加した者 奈良次長、濱田主幹

岩井教育長	午後2時17分、開会を宣言。出席者は教育長及び教育委員4名であり、過半数に達しており、会議は成立した旨を宣する。
	日程第1、会期決定を上程。会期は、本日1日限りとする旨を宣する。
	日程第2、会議録承認を上程。
	異議なきかを問う。
全員	なし。
岩井教育長	日程第2、会議録承認について承認する旨を宣する。
	日程第3、教育長事務報告について上程。
	議案により34件について説明。
	質疑なきかを問う。
関井委員	北教組の訪問は毎年来ているのか。
岩井教育長	そうです。キャラバン隊ということで北教組の役員と仁木の学校の先生が2人くらい付いて訪問に来ます。今まで継続して来ているということと、町に対して要請書以外での要請があるのではないかと思います。今回については銀山小学校の小林先生と一緒に来て、先生が足りないので支援員を増やせないかという話もされていました。
	他に質疑なきかを問う。
全員	なし。
岩井教育長	日程第3、教育長事務報告について承認する旨を宣する。
	日程第4、議案第1号 仁木町立学校職員の育児休業復帰前の慣らし勤務制度実施要領の制定に関する件について上程。
	事務局に説明を求める。
奈良次長	議案により説明。
岩井教育長	質疑なきかを問う。
渡委員	どこの市町村でも行っているのか。
奈良次長	教職員は制定しているところが多くなってきていますが、行っていない町村もあると思います。北海道は既に行っていて、今回道教委が9月1日から制定しました。町でも近いうちに制度を制定したいと言っていました。

	この件については、教育委員会が先行しています。
岩井教育長	他に質疑なきかを問う。
全員	なし。
岩井教育長	日程第4、議案第1号 仁木町立学校職員の育児休業復帰前の慣らし勤務制度実施要領の制定に関する件について承認する旨を宣する。
	日程第5、議案第2号 仁木町立学校に係る部活動の方針の改正に関する件について上程。
	事務局に説明を求める。
奈良次長	議案により説明。
岩井教育長	質疑なきかを問う。
全員	なし。
岩井教育長	日程第5、議案第2号 仁木町立学校に係る部活動の方針の改正に関する件について承認する旨を宣する。
	日程第6、協議案第1号 当面する教育諸問題に関する件について上程。
	(1) 仁木町学校教育基本方針に係る保護者説明会の開催結果について事務局に説明を求める。
奈良次長	議案により説明。
岩井教育長	否定的な意見はほとんどなく、どちらかという皆さん肯定的に捉えていただいて、話を聞いている中で、銀山から学校をなくさないで欲しいという想いが強かったようです。義務教育学校がどのようなものなのかDVDを見ていただいて、かなり理解が深まった部分もあるのではないかと思います。今の学校の形態としてこのような形態もあるのであれば、このような方向で進めて欲しいという意見が主でした。メリットはわかったが、実際自分の目で見えていないのでデメリットがわからないという方が1人いました。前回銀山地区の説明会を行ったときには、まず保護者の意見を聞いてくださいというところで終わっていたため、参加されなかった方もいますが、参加されなかった方には資料を送付させていただいて、意見がある場合はお寄せくださいということで対応をしておりますので、次の段階に進んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。
	質疑なきかを問う。
関井委員	学校が古いということは皆さん知っているのか。
岩井教育長	授業参観などで雨漏りの様子などを見ていると思ひますし、建物の中の傷みが激しいということは、学校に行き来している方であればわかつて思ひますので、建物が古くなってきているということは認識していると思ひます。
加藤職務代理者	最終的には小中一貫教育か義務教育学校が良いと思ひているということか。

岩井教育長 義務教育学校です。教育委員会としては今の小学校の老朽化がひどく、1度大規模改修を行っているということもありますので、集約化することは義務教育学校だという認識で説明はしております。今回見ていただいたDVDも義務教育学校のDVDを見ていただいております。

関井委員 以前デメリットも載せていた資料があったと思う。

岩井教育長 今回もデメリットの説明はしています。ただ、それだけではないのではないかという感覚を持たれています。

奈良次長 教育長が言われているとおり、実際に見ていないのでわかりません。

岩井教育長 先日視察に行ってきたメリットはたくさん聞きましたが、デメリットはないという話でした。ただ、実際にはあるのではないかという心配だと思います。

奈良次長 全て話したうえで、それでも具体的には出てきませんがデメリットがあるのではないかという話でした。

岩井教育長 今まで小学校と中学校が分かれていたときの卒業式や入学式などの行事が、もしかすると学校の形態によってはなくなる可能性があるのでは、そこをデメリットとして捉える方もいらっしゃると思います。人によってデメリットの感覚が違うこともあると思いますので、一概にデメリットはないと言えなかったのも、想定するデメリットはこのようなことがありますという説明はさせていただきました。話を聞いていけばそれ以外にもあるとは思いますが、それ以上の話はしませんでした。この結果を受けてこれから審議会を開いたり、地域や議会に説明したりして進めて行かなければならないと思っております。年度中には方針を確定させて、仁木中学校が来年度に実施設計を組んで再来年度に工事、仁木小学校が再来年度に実施設計を組んで翌年度に工事、仁木小学校の工事をしている間に、銀山小中学校の実施設計を組んで翌年度から工事ということで、次年度以降、他の学校の改修も出てくるので、老朽化してきている順番に改修工事を行いながら進めていきたいと思っております。その整備方針がまとまるのが今年度いっぱいということになっておりますので、皆さんにお知らせしながら、確定させていきたいと考えております。今回、櫻ヶ丘学園の園長も参加していただきましたが、10年後には銀山駅がなくなることによって、今銀山から倶知安や余市方面に通うお子さんがたくさんいますが、通うことが難しくなってくるのではないかという話があり、もしかすると高校生は余市の方に移るような形にして、櫻ヶ丘学園が中学校以下の子どもに限定するとすれば、人数が増える可能性があるということです。そのようなことも念頭に入れながら、町として計画を作成して欲しいという意見もありました。今櫻ヶ丘学園から通っている高校生が10人くらいいて、そのような部分も考えたら銀山の学校が必要なのではないかと考えておりますので、お願いしたいと思っております。

	他に質疑なきかを問う。
全員	なし。
岩井教育長	(2) 令和3年度仁木町教育委員会教育委員研修視察の結果について事務局に説明を求める。
濱田主幹	議案により説明。
岩井教育長	質疑なきかを問う。
加藤職務代理者	英語の部分ですが、英語は高校で英語を教えている先生を引っ張ってきたみたいである。そのため、低学年や高学年でレベルに合わせて授業を行ってくれており、授業自体は全て英語ですが、日本語もきちんとできる先生を入れたのでとても良いとのこと、転勤になった場合はまた引っ張らなければいけないのか聞いたところ、そうだと言っていました。
岩井教育長	他の学校でもありましたが、義務教育学校にすることによって、英語教育に特化した学校が非常に多いです。その理由というのが、本来副校長を置かなければいけないところを置かなくても良くなったり、養護教諭が小学校と中学校で一人ひとりのところを、一緒にすることによって1人しか必要なくなったりすることで、その分を他の教科に充てることによって学力向上に繋がってくるのではないかと話を聞いていて初めてわかりました。
関井委員	地域にしてもアピールポイントとしてわかりやすい。
岩井教育長	仁木のお子さんの中でも英語教育が銀山で進むことによって、区域外通学でも良いから銀山に通いたいというお子さんが出てくる可能性もあるのではないかと思います。函館あたりで義務教育学校を行っているところがそのようなお子さんが非常に増えてきて、義務教育学校になったことによって、子どもの数が膨れ上がってきている学校もあると聞いておりますので、銀山地区はそうになるかわかりませんが、何かの教育に特化するという学校のカラーを出せば、良い学校になるのではないかと思います。
渡委員	制度的には同じルールがあると思うが、先生方の熱い思いなどが核となってどんな学校になるのか変わると思う。先駆的に取り組んでいるというところも当然あるとは思うが、とてもいきいきしていた。そこがおそらく最終的には一番難しい課題になると思う。
岩井教育長	行政視察に来る方が結構いますが、あそこまでの対応はできないです。今回視察させていただいた学校はとても手厚くしていただいて、自分たちの活動経過や良いところをどんどんアピールして行って、先生方の熱量なんだらうなというのはわかりました。
加藤職務代理者	学校が合併したときに、どれくらいの先生が持ち上がりで行っているのか。
奈良次長	そこまではわかりませんが、私が女性の教頭先生に小学校の免許を持っている先生がどのくらいいるか聞いたら、持っていない先生が3人しかい

ないですと言われました。後志と渡島の問題もあると思いますが、渡島地区は教育熱心です。先生の熱量というのもその辺に出てきていると思います。函館の教育大学から渡島管内に入る先生も多く、教育大学に行っていた先生はだいたい小学校の免許を持っていると言われました。

関井委員 自分たちであれば考えないとならないから必然的にそのようになるのか。

岩井教育長 全部が初めてのことだと思うので、先生たちそれぞれが工夫しながらしているというのは見て取れました。例えば小学校の45分授業と中学校の50分授業については、通常同じ時間からスタートすると絶対ズレが出てきますが、小学校の子どもたちの帰る時間は遅くなりますが、ズレを出さないように工夫をされて、そのような工夫も実際行ってきた中での苦労なんだと直接聞いて良かったと思います。前回、銀山で地域説明会を行ったときに、1人の方からなぜ保護者の意見を聞かないのかという意見がありました。先日その方と話をする機会があって、保護者説明会で保護者の方が皆さん納得していますがそれでも反対意見なのか聞いたら、それならぜひ進めてくれないかということでした。前回の説明会のときに30人くらい集まっていたいただきましたが、他の銀山地区の方は皆さん肯定的な意見が多かったです。その中で1人の方だけが今回の会議の意図はなんだというところから始まって、その理由というのが保護者の方の意見を十分聞いてくれないなら、地域だけで賛成や反対ができないということでしたが、今回その辺の話もさせていただいて、地域の方も保護者の方も良いのであれば、応援するのではないかという話もあったので、前向きに捉えて取り組みができるのではないかと考えています。あとは先ほど言った先生の関係ですが、本当に良い先生を何人か引っ張ってこなければ難しいのではないかとするのはあります。

奈良次長 結局まだ後志でどこも義務教育学校にしていないです。
加藤職務代理者 岩内町はどうなっているのか。

岩井教育長 この前また新聞に出ていました。今義務教育学校にしようとしているのが、岩内町と共和町と仁木町で、共和町は共和中学校のところに小学校も集約したいという話がありました。共和町も子どもの数が減ってきて、それでも3校あって1校あたり100人くらいはいるということなので、そんなに小さい学校ではありませんが、中途半端な数なので1つにしたいという話はされていました。

奈良次長 今義務教育学校にすれば、良い先生を回してくれるかもしれない。
岩井教育長 他に質疑なきかを問う。

全員 なし。

岩井教育長 次に当面する教育諸問題について、秘密会として取り扱うことに異議なきかを問う。

全員 岩井教育長	異議なし。 本件は、秘密会として取り扱うこととします。
	～秘密会により割愛～
	次に、2 当面する行事日程について説明。 令和3年第12回仁木町教育委員会定例会の日程は、12月6日（月）の午後1時30分から開催することといたします。
	3 その他について事務局に説明を求める。
奈良次長 岩井教育長 全員 岩井教育長	(1) 令和4年成人式について議案により説明。 質疑なきかを問う。 なし。
	(2) 滝上善市氏（いと氏のご子息）の寄付状況について (3) 令和3年度第1回銀山地区学校運営協議会について議案により説明。 質疑なきかを問う。 なし。
全員 岩井教育長 加藤職務代理者	各委員から報告等なきかを問う。 文化芸術による子ども育成総合事業のお知らせがあるが、銀山中学校は行っていないのか。
岩井教育長 奈良次長 加藤職務代理者 岩井教育長	行っていないです。文化庁の事業で、今回仁木中学校が対象でした。 手上げなので、手を上げないと対象にはならないです。 校長先生の手上げなのか。 そうです。仁木中学校の校長先生はできるものは行うなど、とても積極的です。
奈良次長 加藤職務代理者 奈良次長 加藤職務代理者	2年連続で当たっているので、手を上げたら当たると思います。 見せてあげられるなら見せてあげたいと思った。 事務は先生や教頭先生が行わなければいけないので、校長先生が希望しても先生方が動かないと難しいかもしれないです。
岩井教育長	興味の有無に限らず生で見ることは良いと思うので、見る機会があれば良いと思った。
岩井教育長	私も去年見に行きましたが、こういうものなんだとわかっただけでも良いと思います。
関井委員 奈良次長	小学校もあるのか。 似たようなものはあるはずです。対象が中学校のみであれば中学校しか周知しませんが、それ以外のものは全ての学校に周知しています。これは学校の事業ではなく、生涯学習の事業になりますので、手を上げたら割と付くと思います。
加藤職務代理者	3年間に1回くらいは生のものを見れたら良いと思った。

奈良次長	教育長の事務報告にもありましたが、ダンスも手上げです。
関井委員	経費は全部出るのか。
奈良次長	文化庁から出ます。
岩井教育長	ダンスは偶然保育所の人に教えていただいていた先生です。その先生が今幅広く指導しているので、タイミング良く来ていただきました。
関委員	P T Aの研修でもその先生にダンスを教えていただいているという話があった。
岩井教育長	最近コロナの関係や、劇団四季の札幌会場もなくなったということもあり、そのような文化や芸術に触れる機会がなくなっています。岩内町で小学校5、6年生に対して、劇団四季の配信授業を行っていますので、そのようなものも使いながら、各学校には直接見られない部分を少しでもカバーできるような形での対応を広めていって欲しいということで、話はさせていただいておりますがなかなか難しいです。配信であれば見なくても良いという学校も出てくると思います。
関委員	中学校2年生の総合で、以前は劇団四季を見ていたが、今は代替りのものがあるのか。
岩井教育長	ないです。劇団四季も今は札幌で行っていないので、岩内町が劇団四季との繋がりが強く、後志管内の学校全部に対して岩内町でお金を出し合っ、来年度以降は少しずつ負担をしてくださいという話になるかもしれませんが、今のところは岩内町で劇団四季の動画を各学校に配信しますという取り組みは行ってくれています。来年度以降コロナが収まったら、岩内町の文化センターで劇団四季の公演を行いますとのことでした。
加藤職務代理者	岩内町で1度行っている。岩内町の舞台だと劇団四季が対応できる予算みたいである。
岩井教育長	後志管内で希望する学校があれば見に来て良いですが、全員は見れないので5年生か6年生限定だということです。コロナが収まったら毎年行いたいという話ですが、1回来るのに数百万かかるみたいです。そのお金を岩内町の建設協会などでそれぞれ出し合っいただいておりますが、長くは続かないと思うので、各町村からの負担もそのうちお願いすることになるかもしれないという話はされていきました。文化や芸術というのは、どちらかというと勉強のあとという感じでないがしろにされる部分はありますが、補助金を出しながら子どもたちに見てもらっている部分もあり、子どもたちの教育では必要な部分だと思いますので、そのお金の範囲内でできるのであれば、色々なところで使っただけだと思っております。
	他に各委員から報告等なきかを問う。
全員	なし。
岩井教育長	日程第6、協議案第1号 当面する教育諸問題について協議を終了する旨を宣する。

他になきことを認め、第 11 回仁木町教育委員会定例会を、閉会する旨を
宣する。

(閉会 午後 3 時 41 分)